協和キリン株式会社

研究課題名：急性骨髄性白血病における TIM-3 陽性白血病幹細胞（LSC）の測定系の改良

1. 研究の対象

以下の研究に参加された方

「急性骨髄性白血病における TIM-3 陽性白血病幹細胞(LSC)の測定系の確立」(2022－2024 年、研究代表機関 九州大学)

2. 研究目的

この研究は、再発リスクが高い AML 患者さんを早期に発見するために、再発原因の一つである治療抵抗性を示す白血病幹細胞（LSC）の有無を判断できる検査方法を確立しました。しかし、実際臨床の場で実施すると解析上の問題(陰性コントロールのバラつき)が発生しました。そこで、LSC の有無を判断する基準を再構築するため、別の陰性コントロールの設定を再検討し、バラつきの低減に繋げたいと考えています。以前の研究で得られたデータを陰性コントロールの再設定に使わせていただきたいと考えています。

3. 研究方法

上記 1. の共同研究で収集された測定データを使用して、再解析を行います。

4. 研究実施期間

倫理審査委員会承認後から 2026 年 12 月 31 日までの予定

5. 研究機関

研究責任者	協和キリン株式会社　研究本部　石井俊彦
医学専門家	九州大学　病態修復内科学分野（第一内科）　菊繁 吉謙教授
解析委託機関	株式会社聖路加エスアールエル先端医療研究センター

6. 外部への情報の提供

本研究データは、5. に記載の解析委託機関へ提供し、解析が実施されます。

7. 個人情報の取り扱い

前の研究で収集された患者さんの個人情報は、各医療機関で適正に管理されており、他機関に提供されることはありません。本研究に用いる研究データは、研究者が個人を特定できないよう患者さん固有の番号で管理します。また、得られた研究成果は国内外の学会、学術雑誌などに公表されたり、公開データベースに登録されたりことがありますが、あなたが特定されることはありません。

8. 研究資金

本研究には、協和キリン株式会社が資金を提供致します。

9. 問い合わせ等

本研究に関する質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

本研究のために、ご自身のデータを使用してほしくない場合は、患者さんもしくは代理人の方より、下記までお問合せください。 その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、対象のデータを特定することができなかったり、既に他の患者さんの情報と合わせて解析済みであったりするなどの場合には、該当の個別データの削除が難しいことをご理解いただけますと幸いです。

問合わせ先：https://faq.kirin.co.jp/form/kkc_01.html